

3年道德通信 第23号

第23回『父の言葉の意味を知って』



宮大工の父の跡を継ぐかどうか悩んでいた「僕」は、職人としての父の評判を耳にしたことや、父のもとで職場体験をした友達から仕事をしているときの父の写真を見せてもらったことで、父が真剣に木材と向き合っていることを知りました。家でごろごろしている父しか知らなかった「僕」は、自分の将来について改めて考えます。

職場体験や自分の進路を考えることを通して、仕事の意義に気づき、父に対して尊敬の念を持つようになったという作文から、勤労の大切さについて考えました

職場体験をする前と後で、父に対する印象はどのように変化しましたか？

- ・ 憧れや尊敬をもつようになった。
- ・ だらだらゴロゴロの父から、真面目、尊敬、憧れに変わった。
- ・ 改めて、すごい人だと思った。

「父の心を継ぐ」とはどういうことだと思いますか？

- ・ 自分の仕事に誇りを持っていること。
- ・ 仕事だけではなく、仕事に対する気持ちも継ぐこと。
- ・ 伝統など、受け継がれてきたことを大切にすること。



この作文を読んで思ったこと

- ・ 一生懸命に仕事をするのは大事。その良さを伝えていくのはもっと大事。
- ・ 親の仕事について、理解してみようと思った。
- ・ 自分が今、普通に暮らせるのはいろいろな人が働いてくれているからだと思うので、感謝しようと思った。
- ・ 家業を継ぐには、覚悟や努力が必要だとわかりました。
- ・ しっかり目標を持って、しんどいとき、苦しいときも頑張りたい。今を全力で頑張って、将来につなげたい。
- ・ 自分が苦手になっていることでも見方を変えていろいろ知ること、自分自身の気持ちが変わるんだと思いました。
- ・ 仕事をする事で、好きな物が買える。人と関わり、人を助けることができる。貢献できる。社会とつながることができる。輪が広がる。世界とつながることができる。

働くことの意義や尊さについて、考えよう。



